

平成 22 年 8 月 10 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

ATM ジャーナルの電子保管（ペーパーレス化）の開始について

株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取 ^{ながやす かつのり} 永易 克典）は、環境保護およびお客さまからの取引情報照会への対応の迅速化の観点から、今般、無人ATMコーナー含む全店（約 2,300 拠点）でATMジャーナルの電子保管を開始します。

ATM ジャーナルとは、ATM 内部に備え付ける幅約 8cm のロール状の用紙で、ATM でのお取引内容を記録・保管するために金融機関が使用しているものです。弊行ではこの ATM ジャーナルを、A4 用紙に換算すると年間約 63 百万枚分(※)使用していました。今回これを廃止し、電子保管に切替えることで CO2 を削減し、環境保護に貢献することができます。

なお電子化された ATM の取引情報は、当行のシステムサーバーに保管され、リアルタイムで照会することが可能となります。お客さまからの照会等にも迅速に対応できる体制を整備することで、金融犯罪に対する速やかな対応も実現できます。

今回の ATM ジャーナル用紙の廃止、ペーパーレス化によって、用紙代・保管料等、年間約 3 億円(※)のコストを削減することができます。今後弊行では、事務インフラ等を抜本的かつ継続的に見直していくことで、経営効率を向上させ、かつ環境にやさしく、社会にも貢献できる業務活動を展開してまいります。

(※) 弊行の過去実績に基づき試算した数値。

以上